

平成26年1月八戸市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 平成26年1月29日(水) 午後1時30分
- 2 場 所 市庁本館3階 議会第1委員会室
- 3 委員氏名
- | | |
|----------|---------|
| 委員長 | 武 輪 節 子 |
| 委員長職務代行者 | 築 瀬 眞知雄 |
| 委員 | 岡 本 潤 子 |
| 委員 | 大 庭 文 武 |
| 教育長 | 伊 藤 博 章 |
- 4 職員氏名
- | | |
|--------------|--------------|
| 教育部長 | 佐 藤 浩 志 |
| 是川縄文館長 | 小 林 和 彦 |
| 教育部次長兼教育総務課長 | 澤 田 多嘉男 |
| 教育部次長 | 嶋 脇 郁 夫 |
| 図書館長 | 津取場 重 行 |
| 学校教育課長 | 齋 藤 信 哉 |
| 教育指導課長 | 正部家 光 彦 |
| 社会教育課長 | 船 田 泰 寛 |
| 是川縄文館副館長 | 前 田 美智子 |
| 総合教育センター所長 | 井 上 貫 之 |
| 博物館副館長 | 小笠原 善 範 |
| 北地区給食センター所長 | 中 里 親 弘 |
| 東地区給食センター所長 | 板 橋 稔 |
| 西地区給食センター所長 | 清 川 彦 一 |
| 市史編纂室長 | 藤 田 俊 雄 (欠席) |
| 教育総務課参事 | 尾 崎 雅 祥 |
| 社会教育課参事 | 田 中 勉 (欠席) |
| 教育総務課副参事 | 小笠原 光 則 (欠席) |

(事務局員) 教育総務課主査 佐藤 正 樹

武輪委員長	<p>ただいまから、平成26年1月の教育委員会定例会を開会いたします。 本日の議事録署名は岡本委員を指定いたします。 それでは教育長から、主な会議・行事等について説明をお願いいたします。</p>
伊藤教育長	(資料に基づき説明)
武輪委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いいたします。</p> <p>(質疑なし)</p>
武輪委員長	<p>それでは、これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議いたします。はじめに、議案第1号「八戸市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いいたします。</p>
齋藤学校教育課長	(議案第1号「八戸市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」に基づき説明)
武輪委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。</p> <p>(質疑なし)</p>
武輪委員長	<p>それでは、議案第1号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第1号を原案のとおり決定いたします。
武輪委員長	次に、議案第2号「八戸市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いいたします。
船田社会教育課長	(議案第2号「八戸市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたし

	ます。
	(質疑なし)
武輪委員長	それでは、議案第2号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第2号を原案のとおり決定いたします。
武輪委員長	次に、議案第3号「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いいたします。
前田是川縄文館副館長	(議案第3号「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例の一部を改正する条例の制定について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。
	(質疑なし)
武輪委員長	それでは、議案第3号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第3号を原案のとおり決定いたします。
武輪委員長	以上で議案の審議は終わりました。次に報告事項に参ります。はじめに、「平成25年度第3四半期の業務報告について」は、事前に資料が配布されておりますので、委員の皆さんから質問等ございましたらお願いいたします。
築瀬委員	資料7ページ目の社会教育課社会教育グループの4番の家庭教育充実事業、子育て親育ち講座についてちょっとお聞きしたいと思います。前に4月にも7月にもこのことについてはお聞きしていて、この講座の重要性についてお話して推進とか充実のための取組をお願いしましたけれども、この第3四半期の報告で7校5講座があったということなので良かったなと思っていました。確認ですけれども、今年度に関しては、第1四半期は2校2講座、第2四半期は8校8講座だっ

<p>船田社会教育課長</p>	<p>たと思うんですが、合わせると今年度これまでに実施されたのは、17校12講座という数でよろしいでしょうか。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>ちょっと今手元に資料がないんですけども、大体その程度でございます。3学期になるとなかなか忙しくなるので、大体この程度で終わるかと思われま。</p> <p>昨年度のことをちょっとお聞きしたときに、昨年度は19校16講座という数値だったんですね。4月の定例会で課長さんから、年度当初だけではなくて校長会とか中間の9月あるいは教育課程の編成会議が行われる2月あたりにも呼び掛けていきたいというお話をされていたので、まだあと1回2月の機会があるので、校長会もありますから、最後一押しをしていただいて、是非親もそうなんですけど、先生方にもこういうのに興味を持って欲しいなと思っているんです。もちろん夜やるとなれば、先生方はボランティアというか自主参加になると思うんですけど、そこは校長先生方のリーダーシップに懸かると思っているんです。地域密着とかそういうこととも関連させてもいいわけですし、地域密着は全校でやることになって力を入れているわけですから、そういったことも捉えながら、地域住民も含めてですね。この親育ちとか子育てというのは当たり前なんですけど、親だけではなくて先生も住民も一緒になってやるというところに効果が出てくるんじゃないかなと思っているので、そういった面で是非呼びかけをお願いしたいなと思っています。よろしくお願ひいたします。</p> <p>もう一つちょっとお聞きしたいのは、前に報告を受けている中では、鮫小学校が6月18日に1回やっているはずなんです。それから今回の報告でも11月28日と12月9日に小中合同で連続2回開催しているんですね。鮫小学校は都合3回になるんです。私の記憶では3回というのはなかなかないような記憶を持っているので、何かここに継続的な取組のようなものや、継続的なテーマといったようなものがあるのか。たまたま何かの行事で一緒にやろうとなったのかですね。そこについて社会教育課で何か掴んでいることがあったらお伺ひしたいですし、武輪委員長さんは当事者かもしれませんが、これちょっと興味あったんです。何か社会教育課の方でありますでしょうか。</p>
<p>船田社会教育課長</p>	<p>今日は担当がいらないものですから、後ほどお知らせいたします。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>6月18日はちょっと忘れてしまったんですけども、11月28日は参観日にかけて実施したものです。単体でやると保護者の方がなかなか集まりにくいということで、校長先生の計らいで、参観日に参加した後にお母さんたちお父さんたち、そしておじいちゃんおばあちゃんなど来てくださった方にも聞いていただくということで、こちらの方は児童も全員体育館に集まって保護者の方々にも残っ</p>

	<p>ていただいて、青森の大学から体を作る魔法の薬ということで講演をいただきました。参観日にかけてという形で、非常にいいお話を聞かせていただきました。</p> <p>12月9日は、現在光星学院の校長先生でいらっしゃいます小野寺先生をお招きして、こちらは少人数ではあったんですが、小学校の先生方を中心に、保護者、それからOB、OGになりますけれども地域の方々と交えてお話をお聞きしました。</p> <p>大きな行事と抱き合わせてやるとたくさんの方に聞いていただけるということで、6月18日はちょっと忘れてしまいましたけれども、そういう形でたくさんの方に聞いていただきたいという校長先生のご意向が今年反映されていたと思います。</p>
築瀬委員	<p>小中合同というのは何かあったんですか。</p>
武輪委員長	<p>これも地域密着の中での話で、鮫地区の地域の方々に呼び掛けるという形で、中学校の保護者にもという思いがあって合同でという形になりました。</p>
築瀬委員	<p>9日は夜ですか。</p>
武輪委員長	<p>いえ、夕方授業が終わってからでしたので3時過ぎからでした。</p>
築瀬委員	<p>こういう大事なんだけれどもなかなか手が回らないようなものに関しては、地域密着もそうなんですが、良い取組があったら紹介をしていくということも大事だと思うんです。こういったことで呼び掛けてやっている例があるとか、開催方法とかについても、社会教育課だけではなくて教育指導課とか総合教育センターとか関係課とも連携してですね。前にもお話ししましたが、こういった取り組み方もありますとか、ある学校ではこういった効果が出ていますとか、こういったことを学校のリーダーである校長先生が意識しないと、なかなかこういうのは開けないというのが正直なところだと思うので、是非連携して事例を含めて呼び掛けていただきたいなと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
大庭委員	<p>3ページになりますけれども、学校教育課の4番の学校給食関係のところではちょっとお伺いしたいと思います。(1)の手作り弁当の日ということについてですが、これから第3回目が2月に予定されているのでしょうか。年3回ということで、手作り弁当の日が設定されているようです。このことについては、食育とか生産から始まってものをいただくことに対する感謝の念を持つということで、私はやっぱり必要なことだと思います。与えられているだけではなくて、こういう機会に食に関するいろんな思いを抱くということは必要なことだと思います。</p>

<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>います。ただ反面、この表にあるように、持参しない生徒、あるいはできないと言ってもいいのでしょうか。そういう生徒が当然出てくると想定されます。パーセントで見れば 0.1%あるいは 0.3%というふうに少ないのかもしれませんがけれども、個々の生徒の事情については個人的な問題でしょうからお伺いしませんけれども、これらの持参できない生徒の対応というのはどのようになっているのでしょうか。</p> <p>この手作り弁当の日は、だいぶ歴史も長くて、この事業については各学校とも定着してきているというふうに感じています。1学期に1回この手作り弁当ということで年3回実施しております。この手作り弁当の大きな成果としては、今委員さんからもありましたとおり、食育ということを謳われているこういう時代ですので、食を通じて親子のふれあいと言いますか、絆を強めるといった部分もこの事業の中には含まれています。具体的には学校から寄せられるアンケート等の結果から見ると、ただ単に保護者が弁当を作って与えるだけではなくて、子どもと一緒に作るといった取組もこの頃見られてきているというふうに感じていました。</p> <p>ただ、このアンケート結果の中にも持参しない子どもたちということがありますが、その多くは忘れたというのがほとんどです。ただ、これはもっと前の話なんですけれども、その当時はやはり持たせてくれないといった子どもももちろんありました。よって、そういう子どもにどういうふうにして対処していくかというのが大きな課題ではありましたが、今はそういうこともほとんど見られなくなって、単純に忘れたといった部分になります。そしてそれらについては、これもまた先生方が本当に苦労されている部分だと思うんですが、何かしらの食べ物を子どもたちに提供していると。早い話コンビニに行っておにぎりや牛乳を買ってきて「これを食べなさい」といったような形で与えている。ただやはり、中にはどうしても持って来れないという子どもも実際います。そういうところについては、前もって保護者と連絡を取り合いながら、この日は手作り弁当の日なので何とかして子どもたちのために持たせてくださいといった部分を連絡を取り合っているということです。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>むしろこの中では、忘れたという生徒のほうが多いという状況なわけですね。持ってこれないというわけではなくて。</p>
<p>橋本学校教育課 学校給食GL</p>	<p>補足ですが、10月7日実施の持参しなかった生徒33名の理由と対応状況の内訳は数字で出ております。33名のうち、持ってこなかった理由で一番多いのは、弁当の日であることを忘れていたというのが21件です。二番目に多い理由は、準備してある弁当を持ってくるのを忘れた。これが8件で、この2つがほとんど</p>

	<p>の理由です。そして対応の状況といたしましては、33 件のうち 17 件が家に連絡して持ってきてもらったというもので1 番多いです。2 番目が学校で準備して後日集金ということで14 件となっています。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>はい、ありがとうございました。私が思っていたのとはだいぶ事情は違うんだなということが分かりました。もう一つ心配していたのは、保護者あるいは児童生徒から、こういう日がないほうがいいというふうなところなんですけど、むしろ協力していただいているというふうな理解でよろしいんですかね。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>そうですね。ですから、この事業を通じて、やはりさっき言ったように親子の絆とかそういった部分も図られてきているのかなと思います。この事業自体もだいぶ定着してきていまして、手作り弁当のある日はスーパーもそれ用の食材を売るというようなこともあるみたいですので、大変いいことだなと思っていました。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>保護者と協力して作ってくるとか、そういうふうなことも進んでいけば、高校生になってくると結構自分で作ってくる生徒たちも出てきますので、今度は自分でいろいろ工夫してくるというところにも繋がっていく企画といいますか、そういうふうにも手作り弁当の日の位置付けができるのかなと思います。どうもありがとうございました。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>私も先ほどの社会教育課の事業に関して、意見として述べさせていただくんですけども、これまでずっとこのような報告の中で、保護者に対するいろいろな事業があってもなかなか伸びないということが、これもずっと何年も続いていることだと思います。それに対しては、委員の皆さんからも何度か意見が出ているところですけども、私はこの社会教育という括りの中に保護者のものがあるということが、今の時代に沿っているのかということの一つ投げ掛けさせていただきたいなと思います。</p> <p>その理由の一つに、やはり親になるというのは、昔と今と全然違うんですけども、昔も急に親にはなれなくて、だんだんに親になって親として育っていくというのが親なのでですけども、今の時代とその根本は違うんですけども、社会状況がなかなかそうはいかないところがありまして、社会教育という言葉の中で括ることの難しさを感じております。</p> <p>例えば私も小学校から様々なお手紙を頂戴しておりまして、近隣の小学校からはアンケート結果なども頂戴して詳しく見させていただいておりますが、いろいろなご意見を細かくいただいている様子が明らかになるわけです。給食のときに食缶が重いのではないかとか、重さが均一になるように順番にして欲しいとか、</p>

	<p>こういうご意見まで頂戴しているんだということを私も見るがあります。それをもろろん学校現場では、学校の教員という口からはお話ししていらっしやると思うんですけども、なかなか教員の口から聞いたものをうまく伝えられるかという、現場のことを現場の中で伝えるのは当然なんです、それを別の方の言葉に代わって、学校というところはこういうものなのだということや、育つという過程にはこういうことがあるのだというようなことを知らせていくために、社会教育の中で事業を行っているのですが、ただ社会教育という括りの中ではなくて、先ほど築瀬委員からもあったように、学校教育の中の例えばセンターで行っているような教育相談も然りなんですけれども、やはりそういう中で親としての育ちの場面を作っていくということが教育委員会としても考えたほうがいいのかもしいないと思っております。</p> <p>何か社会教育というと、大人になっても育ちがあるということや、高齢者になっても育ちがあるということで、社会の中でということの社会教育の意味はそんなんですけども、親というものの育ちがなかなか今の時代どうなのだろうかということをお願いさせていただいて、感想めいたことになってしまうんですけども、それを何か変えることで、様々な課がリンクして今課題として捉えていることにたくさんの方に聞いていただくとか、そういうことに結び付くことがあるのかもしないなと思います。教育の構造自体のことにも関わるんですけども、感想と意見ということで述べさせていただきました。事業の内容についてどうこう言うことはないんですけども、構造的なことと考えていることをお話しさせていただきました。</p>
武輪委員長	他に皆様からございませんでしょうか。
築瀬委員	9ページの是川縄文館の(10)講師派遣というところで、市内の小学校1校、中学校1校に講師を派遣とあるんですけども、いつも他のところでも感じるんですが、やはり外へ出て行くとか、様々なボランティアでこの存在意義を知ってもらうということは大事だと思っているんですが、このことについてはどういった内容だったかということは把握されておられますか。
前田是川縄文館副館長	市内の小学校、中学校への講師派遣の内容でございますけれども、小学校は多賀台小学校のほうに親子で縄文の土器作りということで学芸員とボランティアを派遣しております。中学校は是川中学校でしたけれども、野焼きということでこちらと同じく学芸員とボランティアを派遣しております。
築瀬委員	はい、ありがとうございます。是非これも積極的に各学校にあらゆる機会を通して、博物館も図書館もいろいろやっいらっしやるんですけども、大事なこ

<p>武輪委員長</p>	<p>とだと思しますので頑張ってくださいと思います。</p> <p>私の方から一つ、1ページの教育総務課の3番に第3四半期発注済工事というのが2ページにかけてありますが、今年度それぞれ小中学校でトイレの改修工事に入っているかと思えますけれども、現在いろいろな工事において、震災の関連もありますし、これから消費税アップということで資材がなかなか手に入らないとか、一般家庭でも家を新築、増改築するにあたって、資材がなかなか手に入らないとか人材不足ということで遅れているようですが、トイレの改修工事の方も工期どおりに進んでいるのかどうかということ。あとはトイレの改修工事ですので、その代わりのトイレを外に設置されているかと思うのですが、その衛生面について、これはもしかすると教育総務課の範囲内ではないかもしれないんですが、トイレの衛生面についてちょっとお伺いしたいと思います。</p>
<p>澤田次長兼 教育総務課長</p>	<p>今回の営繕工事の予算は、ちょっと特殊というわけでもないんですけども、去年の3月にいただいてそれを今年度実施しているというものでございます。ですから、工期につきましては、必ず今年度中ということで私たちも考えております。委員長さんがおっしゃったとおり、後半になりまして業者さんもいろんなところに出向いて行って工事が多いということと、部材とか材料が入りにくくなったということも聞いてございますが、学校と入札をする検査課のほうで、どうすれば入札をしていただけるのかというふうなことを相談いたしまして、今は予定どおり、学校数にすれば14校、体育館もあるので数は増えますけれども、頑張ってお業者に落札をしていただいているところでございます。厳しい状態ではあるんですけども、私たちも3月末までには工事ができるものと思っております。</p> <p>その中には、校長先生、生徒さんの絶大なご支援をいただいて、例えば業者さんが使えるような場所を貸していただくとか、通常であれば学校の中に2箇所とか3箇所あるトイレを順番にやっていくといいんですけども、それも工期に間に合わないということで一気にやらせていただくとか、校長先生をはじめとしてご協力をいただきましたので、その分外に仮設のトイレを付けることになりました。それについても、生徒さんに掃除等々のお願いしている部分もあろうかなと思っておりますけれども、ご協力いただいて進めて参ります。</p> <p>あとトイレの流す水につきましては、手前どもで用意してちゃんと流れるようにはなっておりますが、ただし水洗のように綺麗には流れないのでそれはちょっと臭いがするのかなと思っておりますけれども、大体1ヶ月前後くらいご協力いただくこととなります。そうではない学校もありますけれども、そういうふうになっている学校もあります。</p>

武輪委員長	<p>トイレの衛生面ということに関しては、養護教諭の先生が外にあるトイレに関してチェックをしたりということは、それぞれ学校ではしているのでしょうか。</p>
澤田次長兼 教育総務課長	<p>入れる水が凍らないような不凍液、ちょっと値段が張るんですけども、今日みたいに寒いと通常の水だと凍りますので不凍液を購入するというふうに考えておりますが、校長先生にお願いをして技能主事さんなどに足りなくなったら入れて欲しいというふうなことでお願いはしてございます。</p>
大庭委員	<p>9ページの是川縄文館のところで、これは感想になります。本館の1番の(2)のところの、企画展「縄文時代の津軽半島」というふうな企画を見させていただきました。是川縄文館には何度か足を運んでいます、どうしても地元のは1回行けばもういいんじゃないかなという意識が働いてしまうんですが、津軽半島との関わりという形でもうちょっと広い視野で、八戸のものだけではないですよというふうな視野で展示されていたのは、私は良かったなど、こういうふうな捉え方もあるんだなと思って拝観しました。こういうふうな企画をしながら、是川だけではもちろんないんですけども、もうちょっと範囲を広げた視点でこの是川縄文館のあり方を発信していけば、もう1回見に行こうとか、足を運ぶ方も出てくるのではないかなというふうな感想を持ちました。もうちょっと視点を広げた、この津軽半島との関連とか、何かそういうふうな視点での企画をしていただければ、もうちょっと入場者数が増えるのかなというふうな印象を持ちました。</p> <p>それからこれは質問になりますけれども、図書館に関してですが、ここにある資料とは直接関係はないですが、ある時期に図書館の利用方法として、高校生が非常にマナーが悪いというふうなことを聞いたことがございます。現在の状況はどうなんでしょうか。マナーが悪いというのは、はっきり言えば声を出しているとか、個人で勉強したり研究したりしているという部分ではいいんでしょうけれども、マナーの問題で良くないということを目にしたことがございます。この辺のところはどうなんでしょうか。現在の図書館の状況をお知らせいただければと思います。</p>
津取場図書館長	<p>高校生のマナーについてですけども、本館の方でもややおしゃべりをする高校生が時々いるようです。そういう時は職員の方で注意したりしています。そんなに注意を聞かないような生徒は多くないようです。</p> <p>ただ、南郷図書館の方ですけども、中学生、高校生くらいで2階の休憩コーナーのところでおしゃべりをしているというようなことを南郷図書館の方から聞いたりしてしまして、注意しても聞いてくれないというようなことも言っておりましたけれども、重ねて注意するようにしています。時々そういう生</p>

武輪委員長	徒はいるようです。
武輪委員長	その他にはございませんでしょうか。
築瀬委員	<p>では報告のほうは終了しまして、次に「平成 25 年度第 4 四半期の主な事業予定について」皆さんから何か質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>3 ページの教育指導課実践支援グループの 4 番の特別支援教育アシスト事業なんですけれども、これもいつもお話ししているので繰り返しになるかと思うんですけれども、この有用性とか必要性については学校現場の声も大事にしながらということでこれまでもお話ししてきました。</p> <p>ここの 3 つ目のポチのところ、アシスタントさんの募集開始と選考予定などについて掲載されているんですけども、この締切りが先週の金曜日の 1 月 24 日だったと思います。先週の金曜日で今日は水曜日なので、応募者が大体どれくらいになっているか分かっているか、発表できないのであればいいんですけども、差し支えなければどの程度の方が応募されたのか、お知らせいただければお知らせいただきたいと思います。</p>
正部家教育指導課長	これは公募しているもので、締め切りまして 130 名の応募がございました。
築瀬委員	130 名だと安心しました。というのはいつもお話ししているように、スタディサポーターの制度が今年度で打ち切りということで心配していたわけですね。それで特別支援アシスタントの増員を目指して欲しいということもお願いしてきましたので、まだこれから予算等の最終的なところに入っていくと思うんですけども、もし人数が少なければ追加募集しなければならないのかなと思っていたんですが、余計な心配でした。選考に困ると思いますが、適切な人材を選んでいただければと思います。よろしくお祈りします。
築瀬委員	続いて私の方からあと 2 つほどお話しさせていただきたいと思います。4 ページの教育指導課の青少年グループのところ、2 番の愛の一声市民会議は事務局を兼ねているという大変ご苦労な仕事をされているわけなんです、新春はちのへ郷土かるた大会のことがここに載っています。これも今把握できていれば結構なんです、今回の 1 月 8 日に、どれくらいの学校とか団体からどれくらいの子どもたちが参加したのか、担当の方はいらしてますか。
南館教育指導課 指導主事	担当はおりませんが、今年は 10 チーム参加しております。実は去年は 15 チームだったんですけども、今年は 10 チームということで減っております。

<p>築瀬委員</p>	<p>今ちょっと聞きたいこともお話ししていただいたんですが、実は次にお聞きしたいと思っていたのは、最近どういうチーム数でどういう状況なのかということを知りたいんです。というのは、このはちのへ郷土かるた大会については、この愛の一声市民会議ということも含めてなんですが、学校の先生方のボランティアとか各団体のボランティアも含めて、審判とかを務めているわけですね。引率とかも含めて保護者ももちろんそうなんですが、そういう方々のご苦勞の中で開催されているということは重々理解しているところです。</p> <p>ただ、もうちょっと前に遡れば、このはちのへ郷土かるたが出来たあたりは、各学校あるいは各方面で様々な場面で活用を図ったり、あるいは各学校や地域でその特色を生かした郷土かるたといったものを作成していった時期だったと記憶しています。私が勤務していた学校でも、地域の題材を元に大判の郷土かるたを作成して活用した経験があります。実はこれは現在の地域密着型教育ともかなり接点があるところなんです。総合的な学習の中でも進めてきたわけですが、そういったことについて知っている者としては、現在の状況について若干危惧しているところがあるんです。事務局の方では現在も郷土かるたの販売というか、お世話をしていますよね。そういった苦勞をされているのも、本当にご苦勞だなどいつも思ってきたんですが、何かその手詰まり感というものをご苦勞だなど何かできないものかなというふうに感じてきた者の一人なので、何かそういったことについての課題とか、その課題について何か工夫していく必要があるなどということは話されているものではないでしょうか。それとも考えられているものではないでしょうか。</p>
<p>南館教育指導課 指導主事</p>	<p>覚えている範囲でお答えします。まず、学校で出ているチームもありますし、子ども会で出ているチームもあります。役員の方は中学校、高校生のボランティアで審判とかジャッジをやっております。ですから、そういう負担はないんですが、やっぱり引率する負担はちょっとあるのかなと思います。昨年 15 チームで今年 10 チームということですが、私が覚えている分の 3 チームは、子ども会の 2 チームが降りて、学校の 1 チームが降りたというのは覚えております。その理由は、1 年生から 6 年生まで 1 人ずつ選手を揃えなければならないのですが、子ども会自体が縮小になって、なかなか学年ごとのメンバーを揃えられなくて出られないというのは伺っております。それについての解決方法は、この前、愛の一声市民会議の事務局会議がありまして、その中で出ているかもしれませんが、その会議に私は出ておりませんでしたので、後でお答えするという形でもよろしいでしょうか。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>はい、結構です。別に追及したいというわけではなくて、むしろ何か手立てを工夫して、今南館先生からもお話があったように、例えば 1 年生から 6 年生まで</p>

揃えるのが難しいとか、そういったものがあつたらもっと現実的に考えて、参加しやすいような形も考えながら宣伝していくといったことも必要だと思うので、是非そのあたりを事務局の方にお伝えしていただくとかして頑張ってもらえればと思っています。

さっきも言いましたように、今年度から地域密着型教育が全学校で始まったということも含めて、いつも言うんですが様々なものをリンクさせる。これはこの行事というのではなくて、郷土かるたがどうやってできたのか、その目的にちゃんと書いていますよね。ふるさと八戸を愛する子どもの育成、郷土についての知識、いわゆる愛とか誇りですよね。それは地域密着型教育の目的と同じなんです。だから、そういったことも含めて、各課とも連携して、今はたまたま地域密着型教育も教育指導課の管轄なんですけど、そういったことの中でも触れながら話をしていくとか、そういったことも考えていただければ有り難いかなと思って、頑張ってもらいたいと思ってお話ししました。

武輪委員長

今の郷土かるたのことに私知っている範囲で申し上げますと、低学年の1、2年生には郷土かるた、中学年、高学年には百人一首をとというふうには、私の子どもたちもそのような形で、まったくこの郷土かるたに触れていないわけではなく、低学年のうちに郷土かるたを一生懸命やって、そのあと百人一首に移行してということで、百人一首を6年間で百首全部覚えるというようなことをしておりました。

1、2年生の頃に郷土かるたに触れておりますので、やはり今でもB-1グランプリでせんべい汁が優勝したときもそのせんべい汁の句を言ってみたり、何かの時にはふとその句が出てきます。今の大学生も高校生も中学生もふと出てきますので、このかるたのおかげで、ここにあるような郷土を愛するところの本当の末端のところに入っているのは確かにあります。

ただ、その勉強という一つの中で言うと、私も保護者として、百人一首も覚えてもらいたいなという強い思いがありますので、高学年になってもずっと6年間郷土かるたというのではなく百人一首もとなると、やはりその学校の中では、低学年が郷土かるたで高学年が百人一首という形になってしまいます。学校としてそのチームを編成するにあたって、もちろん1、2年生のときにやっていますから6年生になってもできるので、チームは作れるとは思いますが、もしかするとそういうところもあるのかなと思います。

ただ子どもたちは、どこの学校でもやられているのではないかなと思うんですけども、どこかで触れていることではあるので、それをやはり大事にというふうな形では、築瀬委員さんがおっしゃっているようなことも考えながら、廃れていくというのではなくて、常に保ちながら継続していくという良い方向を考え出していくのも一つかなと思っています。

武輪委員長	他にございませんでしょうか。
大庭委員	<p>10 ページの図書館のところですけども、いろいろ企画展示されているので、時々私も行って見させていただいています。受付の前にはちょっとしたコーナーを作ったりしているんですが、ある他県の図書館に行ったときに、企画の一つとして、例えば個人の作家、例えば八戸市であれば三浦さんの作品を空間を使って展示していたんです。どういうふうな方法かというと、本のカバーを全部広げて糸で吊るして見せているんですね。レイアウトも考えながら。これは面白い表現方法だなと思いました。どうしても下に置いていると、一回にいろんな複数の本を見るわけにはいかないですね。手にとって見なければだめだ、あるいは背表紙しか見えないというふうなことで、カバーを開いて複数ずつと流れるような感じで展示していたんですよね。あれだと空間をうまく使いながら、しかもこの作家のこういう作品があるんだというのが一目で追っていけるといいですか、これもなかなか面白い展示方法だなと思いました。中身は要りませんので、軽いカバーだけやっておけばですね。何かこうアピールするような展示方法があれば、もっと訪れた人が利用しやすいのかなと思いました。</p> <p>それから 11 ページの博物館のところに関してなんですが、新春のミニ企画展「うま」を拝見させていただきました。面白かったです。特に八戸における馬と生活との関連とか、あと面白かったのは種差海岸の芝生でかつては馬があそこで放牧されていて、それが芝生を維持するいい循環になっていたということとかですね、なるほどなと思いつつ拝見させていただきました。博物館でも、先ほどの是川縄文館と同じようにいろんな発想の企画をしていただければ、また足を運んでみようかなと思うかと思しますので、そういうふうなことでいろんな発想を生かしていただければと思いました。</p> <p>それからもう一つ博物館で、市内の学校の校歌を視聴できるコーナーがあるわけですけども、帰りにそこをいじってましたら、高校が確かウルスラ高校さんしかなかったんですね。私が見たときには他の高校が無かったように記憶していました。これは高校側の協力が得られていないのか、あるいは小・中である程度いいというふうなことで進めているのか、もちろん市の教育委員会としては小・中が義務教育ですのでそこが主体ですけども、もう少し地域というふうに考えれば、各高校の校歌等も入ってくれば訪れた人が興味を持ってくれるのではないかなというふうな感想を持ちました。</p>
小笠原博物館副館長	今現在、小・中学校の私立・公立は入れております。将来は高校、大学というような予定になっております。学校も今の少子化に伴って統廃合になっていきますので、統廃合になってしまった学校も入れております。そういう感じで今手に入

大庭委員	<p>るものは極力入れるようにしておりますので、美保野中学校も小学校と校歌は一緒なんですけれども画像は変えております。それから、番屋小学校も入っておりますし、そういうふうな感じで極力残すようにはしておりますので、将来はもう少しバリエーションを増やしていきたいと思います。</p> <p>そうすれば私立・公立を問わず、高校もこれから増やしていくということですね。</p>
小笠原博物館副館長	<p>はい。高校の場合になると、今度は学校によっては応援歌というものが印象に残っているOB、OGの方がいると思いますので、そういうふうな校歌の他に応援歌も入れておきたいなと思っております。今の時点ではなくて、将来10年、20年先にもっと活用していただければという頭でやっておりますので、これから頑張りたいと思います。</p>
大庭委員	<p>是非高校あたりも入れてもらえれば、もう少し行った人が楽しめるかなと思いましたがのよろしくお願いします。</p>
武輪委員長	<p>私の方から2つお話ししたいと思います。</p> <p>2ページの学校教育課の4番の学校給食関係の(1)平成25年度八戸市児童生徒学校給食活動発表会でございますが、昨年に引き続き今年度も出席させていただきましたが、こちらの学校給食活動発表会が60年に渡って続いて行われたということで、そして今年度で終了ということになっております。こちらの発表を私は大変楽しみにしておりました、素晴らしい内容のものをやっていたらいいなと思って、昨年も学校給食会の副会長の佐々木先生の方にも申し上げたんですが、残念ながら今年度で終了ということのようです。保護者としてもこういう活動発表をしていたということすら昨年まで知らなかったもので、非常にいいことをやられているので、もっと早くこういう発表をしているということを知っていただいて、保護者の方にもたくさん聞いていただきたかったなと思いましたが、本当に長い間62年間も継続してやられた先生方、関係者の方々にも感謝申し上げて、大変立派な発表会が終わったということを皆様にもご報告申し上げたいと思います。</p> <p>それともう1点、4ページですが、8番の小・中学校ジョイントスクール推進事業の1月21日の発表会ですが、教育長の方からお話がありましたが、こちらにも昨年に引き続き私も参加させていただきました。大変有意義な発表会で、昨年と発表の仕方も変えて、昨年は第1部のところはそれぞれ2校発表がある中でどちらかを選ぶ形での発表でしたが、今年度は全員が第1部において両方の学校の先生方のお話を聞けるということが大変良かったなと思ひまして、昨年は</p>

	<p>両方どちらも聞いてみたいけれども、ある時間の範囲内で半分に分けて聞きましたので、今回は両方聞けて大変良かったなと思いました。第2部の講演の内容も大変興味深く聞かせていただきました。</p> <p>この第1部の中沢中学校の最上校長先生が発表された中に、南郷区のところで保健センターのことについて少しお話しされていました。南郷区には保健センターというところが実際にあって、南郷区内で生まれた子どもたちはそこに生まれたときからのデータがちゃんと保管されていて、いろいろなことに活用されているというお話を伺いました。八戸市内にもそういうふうな子どもに関するデータがそこに行くとは何でもあって、いろいろな子どもに役立てているようなことを初めて伺ったんですが、それは教育委員会としては実際にそういうのはもちろん分かっているとは思いますが、南郷区以外の学校も南郷区のような形で、そういうセンターという場所がなくても、そういう同じような形の動きといいますか、そこに行くとは生まれてからのデータがすべて分かるというようなシステムになっているのか。それとも、旧南郷村だけ特別に何かデータが残されているのかどうかというのをちょっと思ったんですけども、これに関して分かる方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
武輪委員長	<p>今はいらっしゃるようなので、後でお話を伺いたいと思いますけれども、この保健センターという言葉も、八戸市の中にそういう保健センターというものがあるということすら私は勉強不足で知らなかったもので、そういうふうな動きがあって実際そういうふうな活動されて、小学校・中学校の児童生徒にも活用されているという、いろんな形で成長する中で活用されているというのを聞いて、八戸市内にもそういう動きがあったんだなというのを初めて知ったものですから、お聞きいたしました。</p>
齋藤学校教育課長	<p>ちょっと前の話でうる覚えなんですけれども、今の南郷区、昔の南郷村ですが、あそこはいわゆる平均寿命が大変短い地域ということで、確か国の指定を受けて村全体で健康づくりの対策を立てた地域ではなかったかなと思います。その名残で、今も南郷区の健康づくり推進会議だったかという名称で残っているものがあります。そこには学校とか保護者とか地域住民、そして関係機関の方が一堂に会して、様々情報交換を行うということは今もやっているんですけども、たぶんそのときの子どもたちの身長・体重とかそういったデータが、今の南郷健康センター、昔の南郷診療所に蓄積されているのではないかなと思います。ただそれが今現在も継続されているかという部分については、私も今持ち合わせのものはないんですけども。</p>
武輪委員長	<p>大変興味深いお話を最上先生がされていたので、少しお話を聞きたいなと</p>

<p>武輪委員長</p>	<p>思いました。</p> <p>他に皆様方から何かございませんでしょうか。</p> <p>なければ(3)に移りたいと思います。「平成 26 年八戸市成人式について」事務局からの説明をお願いいたします。</p>
<p>船田社会教育課長</p>	<p>(資料「平成 26 年八戸市成人式について」に基づき説明)</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いいたします。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>今回、私は3年振りくらいに成人式に出席したんですけれども、その出席していたあたりは、式が始まる前に教育指導課青少年グループの指導主事の方が「皆さんの良識ある行動に期待しています」とか「成人としての自覚を望みます」とかということ呼び掛けて大きな効果があったと思っているのですが、私の記憶違いか私が会場に入る前に行ったのか分からないですけれども、そういうことはあったでしょうか。</p>
<p>船田社会教育課長</p>	<p>そういう呼び掛けはしていません。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>いつ頃からなくなったか分かりますか。</p>
<p>南館教育指導課 指導主事</p>	<p>私は4年目になりますが、4年前はもうやっていませんでした。北山指導主事のときにはやっていたという話をしていますので、やらなくなって4年くらいになるのかなと思います。不確かですが。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>北山先生までやっていたのは覚えていて、かなりそれで凜とした空気が流れたという記憶をずっと持っているのですが、ちょっと今お聞きしたのは、そのようなことが無くなったのは、それをしなくても八戸市の成人式がある程度しっかり行えるようになったという前提だったのかなというふうに思ったんですが、何かその辺の事情を覚えている方はいらっしゃいますでしょうか。たぶん私はそこまでしなくても、女性の方の和やかな進行で八戸市の成人式を行えるようになったというふうに自分で勝手に判断をしていましたが、それにしてもここにスタッフの方の人数とか職種も述べられているんですが、こういう方々のボランティアのおかげで大変穏やかに行われているということはとても有り難いなと思って、今回も参加いたしました。ありがとうございました。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>同じような感想ですけれども、私も数年前参加したときは確かいろいろ注意事</p>

	<p>項があったような記憶があります。ただ、今回改めて委員という形で参加して2点ほど気が付いたのは、やはりそういうアナウンスが無くても、非常に粛々とした、全国的にいろいろ問題が起こっている中で、粛々とした成人式であったなというふうな印象を持ちました。象徴的だったのは司会の女性の方がショールを取ってくださいというアナウンスを一度したら、だいぶみんな取っていたんですよね。割と素直にと言えればいいんでしょうか。女性の方が、以前の印象であればなかなかそれすらも1回ではうまくいってなかったなという印象があったんですが、そのときはショール一つをとって見ても、会場の成人女性たちがそれに従っていたんですよね。ああいうふうなこと一つ見ても、粛々と整然と行われているなという印象を持ちました。</p> <p>それからもう一ついいなと思ったのは、ふれあいタイムのところで、実はずっと関心があって残っているいろいろ回っていたんですが、これは学生等で東京等に現住所を移している生徒には案内がいないんですよね。</p>
船田社会教育課長	<p>住民登録されている方しか我々は把握しておりませんので、市内に住所がある方のみになります。</p>
大庭委員	<p>そうですね。案内が行っているのは市内在住の成人の人だと思うのですが、会場の中に東京にいる学生を数人見かけたんですよ。「案内行ったの」と聞いたら「いや、来ていません」と。ただ、ふれあいタイムがあるのを知っていたんですね。そこで仲間と会いたくて来ましたと。だから、このふれあいタイムのためと言えればいいんでしょうか、わざわざ帰省しているんですね。そういう生徒を何人か見まして、やはりこのふれあいタイムというのはそれなりの効果を持っているんだなということを認識しました。これもいい形で続いていけばいいなというふうな感想を持ちました。</p>
岡本委員	<p>私も一言、細かいことで大変恐縮ですけれども、人数も大変多くていろいろ工夫されていることが目に見えて効果となって出てきて、先生方もたくさん協力していただいて、係の方々のご苦勞をいろいろ感じながら拝見している成人式で、今年も穏やかで良かったのではないかなと思って拝見しておりました。</p> <p>一つ、やはり保護者の方が非常に多くなっているなというのは年々感じるんですけども、今年はとても多くなっているなというふうに思って、その方に関するご理解もお願いしたほうがいいのかというふうに思いました。女性にショールを取ってくださいと言うのと同時に、外套というかコート類もやはり一言、ショールだけは話すんだけど外套ということはお話していなかったの、だんだん今は外套を着て中に入っても平気というような、マナーではないですけども社会人としてのあるべき姿が、20歳超えた方でもなかなかそういう習慣がな</p>

	<p>くなってきたので、そういう言えるところでは言って、社会のマナーということに気付くせつかくいい場所なので、そういうこともあればいいかなというふうにちょっと感じたものですからお話をさせていただきました。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>それでは、その他事務局から報告事項はありますでしょうか。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>事務局からは以上のような感じです。それでは最後にその他ですが委員の皆様方から何かございますでしょうか。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>最後に私から一言だけ、ノロウィルスが流行っているようですので、もちろん給食センターの皆様方は手洗い等十分に気をつけていると思いますが、今一度、たぶん何回言ってもよろしいことだと思っておりますので、気をつけていただくようにどうぞよろしくお願いいたします。ノロウィルスに加えてインフルエンザも流行っております。これから中学校、高校のほうでも受験シーズン本番を迎えますので、子どもたちが良い状態で臨めるような形で送り出していきたいと思っております。</p> <p>それではこれを持ちまして、平成26年1月の教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(午後2時57分終了)</p>